

令和3年3月（第1回）岩倉市議会定例会 代表質問

黒川 武 議員

1 リーダーシップ及びリーダー像について問う。今後の4年間、市政運営の責任者として、リーダーシップをどのように発揮するのか。市長の目指すリーダー像を聞く。

2 市長のマニフェスト（政策）について

(1) 特別な柱 新型コロナウイルス感染症対策について問う。

① 市民向け Q&A を作成し自己判断ができるよう情報を発してはどうか。ワクチン接種は努力義務であっても、個人の判断に委ねられているため、どのように対応するのか。

② ワクチンの接種率を 60% 見込と判断する理由あるいは根拠は何か。

③ 接種するワクチンは、最初にファイザー社製が使用されるが、他の製薬会社のワクチンを希望する人に対し、どのように対応するのか。

④ ワクチン接種は努力義務であって、接種するかどうかは個人の判断に委ねられるもの。接種していない方への差別やいじめ、不利益な取り扱いはあるとはならない。個人情報や人権を守ることが強く求められるが、どのように対応するか。

⑤ 接種予約や各種相談、問合せに対応するためのコールセンターは、委託するが、受付業務マニュアルやオペレーター研修だけでは対応しきれない場面が想定される。岩倉市の実情やワクチン接種に詳しい方が対応されるのか。また、市からコールセンターへ職員を派遣する考えはあるのか。

⑥ 江南市の HP に、江南保健所から自宅待機の協力を求められた方へのお知らせとして、買物代行や薬の受取代行の緊急時生活支援事業の案内がある。江南市のような生活支援事業は実施しているのか。

⑦ ごみ回収時の感染リスクを避けるための正しいごみの出し方について、市民に協力していただくようお願いしてはどうか。その周知について問う。

(2) 子育て・教育環境の充実したまち

① 「子ども医療費の助成を 18 歳の年度末まで拡大」について問う。構想として、具体的にいつ頃にどうしたいのか、3,000 万円を超える費用の財源はどうするのか、国の助成制度の創設が無くても、やり切る考えか。

(3) 健幸で安心して暮らせる安全なまち

①「文化・スポーツ振興による健幸増進と生きがいづくり」について問う。市民温水プールについて問う。

1 学校におけるプールのあり方について、昨年3月定例会の代表質問に対する答弁内容から変わりはないのか。

2 市民温水プールは、市民に期待されるもの。市長が市内の企業を訪問し意見交換をする場で情報収集や意見交換をしつつ、専門家や市民の参加の下で、整備について調査研究してはどうか。

(4) 活気あふれ伸びゆくまち

①「桜通線の整備促進やお祭り広場を中心としたにぎわい広場の整備」について問う。

1 桜通線の岩倉街道から五条川までの第二工区の整備促進やにぎわい広場の整備について、今後4年間の中で取り組むのか。構想を問う。

2 「岩倉駅周辺のにぎわいと活力の創出」のポイントは、都市計画道路江南岩倉線の整備である。県は、土地区画整理事業などによる面整備を含めた道路整備の考えのようであるが、地元の意向は、道路整備を進める単独用地買収方式を望む声が7割を超えている。打開策をどうしていくのか。一宮市は一宮駅周辺地区計画で、商業と住居の複合化などによるにぎわいの創出を掲げている。こうした事例を参考にしながら、岩倉駅東地区全体の整備方針について、早めに取り掛かってはどうか。

②「名神高速道路のスマートインターチェンジの設置に向けて検討を開始」について問う。

1 令和元年5月8日の3市の市長の意見交換以後、どのような協議を行っているのか。スマートインターチェンジを整備促進するための課題や問題はどのようなものがあるのか。

2 策定予定の都市計画マスタープラン案では、二つの場所が明示されているが、一宮市、江南市との協議で確認されているのか。

3 日進市の東郷スマートインターチェンジ整備事業では、周辺住宅地の住民により結成された「スマートインター計画の改善を求める会」が市長と国交省あてに反対署名を提出している。住民に説明し、意見を聞き、理解を求めていくこと

が大切である。住民への対応をどう考えるのか。また、整備費用や市の負担について試算しているか。

4 スマートインターチェンジの設置が目的ではなく、それとまちづくりをどう関連付けるのかが重要である。第4次総合計画の第10次実施計画では、4年度に「スマートインターチェンジ設置検討業務 7912 千円」が計上されている。今後の4年間の中で、スマートインターチェンジの設置とまちづくりをどのように考え、実現に向けて取り組むのか。ロードマップを問う。

(5) 清潔で地球にやさしいまち

①「五条川桜並木の再生」について問う。

1 昨年12月に、ジンダイアケボノ4本が植樹されたが、説明看板がない。市民、観光客向けの説明看板があると、多くの方々に見守られ可愛がられるのではないか。看板の設置について問う。

2 後継木として、ジンダイアケボノの他に「ひこばえの育成」がある。桜並木の再生について、どのように進めていくのか。あらゆる世代の方々からの意見を聞き、考え方、方針を固め、財政も含めて桜並木再生計画を立案してはどうか。桜並木の再生のロードマップの考えを問う。

(6) 持続可能なまち

①「行政評価による行財政改革と職員の意識改革、デジタル化改革など止めることのない改革」について問う。4年間で目指すべき改革とは具体的に何か、どのような課題を想定しているのか。

(7) マニフェストをどのように政策化していくのかについて問う。

①第2期マニフェストの政策立案について、第1期と同じように関係部署による組織横断的プロジェクトチームを設置して取り組む考えなのか。あるいは他に考えはあるのか。

②政策立案は主管課で推進するケースと組織横断的なプロジェクトチームで検討するケースを想定しているようですが、政策立案過程に専門家などの第三者や市民の参加、あるいはタウンミーティングのような幅広く意見を聞く場などを行ってはどうか。政策立案過程でどのような手法で市民参加の機会を考えるのか。

3 その他の行政課題について

(1)人事管理について問う。

①職員採用について問う。昨年 9 月採用で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、内定を取り消された人や経営状況の悪化等により離職を余儀なくされた人、事業活動の縮小により職を失った人などの緊急雇用対策として募集した。令和 3 年度も、就職氷河期世代を対象とした採用も含め、引き続き実施するのか。

②男性職員の育児休業の促進について問う。

1,女性職員、男性職員の育休取得率の状況はどうか。男性職員の育休取得率を上げるための方策を実施しているのか。市内の事業所への働きかけはしているのか。

2 昨年の秋以降、男性の育休を巡って 3 つの動きがある。11 月 24 日、一宮市が令和 3 年度中に男性職員の 1 か月以上の育休取得率 100%を達成するという目標を発表していること。愛知県は、「県職員の女性活躍促進・子育て応援プログラム」を策定し、男性職員の育休取得率の目標を令和 3 年度から 7 年度までに 50%まで引き上げること。厚生労働省は、通常国会に育児・介護休業法の改正案を提出し、生後 8 週まで最大 4 週間取得できる「男性版産休」の新設などを予定していること。子育てのミカタである市長は、職員の子育て環境をどのように整えていくのか。市内の事業所にどのような方策を講じていくのか。

3 公務員倫理について問う。人材基本方針が目指す職員像の行動例として「高い倫理観で誠実かつ公平・公正に業務を行う」とある。高い倫理観を身に付けるためには、公務員倫理研修を反復継続して行うことが不可欠である。公務員倫理研修は今後、どのように実施するのか。その研修の際、市長が職員に直接語り掛けてはどうか。

(2)緑の基本計画案について問う。

①この 3 月に計画決定される緑の基本計画案について聞く。基本方針の緑の創出で「うるおいのある生活環境の形成のため、官民協力による緑化を推進し、緑の創出に努めます」と定め、今後の施策の展開が示してある。現実的に、道路の緑化は幅員の確保や維持管理上難しく、学校の緑化も物理的に困難であり、公共施設の緑化は限界にある。近年、住宅建設が好調だが、人工芝の施工や舗装などで植樹がだんだん無くなってきているのではないかと。新築の住宅に植樹をしていただくために、住宅のシンボルツリーに一部助成するとか、シンボルツリーをプレゼントするとかを検討してはどうか。

(3)「水道事業経営戦略案」について問う。

①経営戦略案は、水道ビジョンの方針に基づいて、持続的な水道事業経営に取り組む計画であるが、令和 3 年度を目標期間とする水道ビジョンは、次期に向けて改定するのか。

②アセットマニュアルによる管種別の更新基準では、法定耐用年数を 20 年から 40 年延長することになる。現在の更新計画を見直して新たな計画が必要となるが、いつ頃予定しているのか。

③「愛知県水道広域化研究会議に参加し、運営基盤の強化を図るため、施設運営や事務事業の共同化も踏まえ、引き続き広域的な視点で検討を行います」とある。会議では具体的にどのような課題について話し合われているのか。本市の目指すべき方向は、他の自治体との統合でしょうか。広域連携でしょうか。